関数協　秋の研究集会 in 上田

（報告　大谷公人・関数協事務局）

　11月20日（土）と21日（日）に，長野県上田市中央公民館を会場に，秋の研究集会が行われました。

参加者は，午前中の「教具作り」（算数数学おもちゃ箱）と「算数数学なんでも相談会」に子どもと保護者合わせて15人，教職員64人の合計79人の参加となり，賑やかな集会となりました。また，夜の夕食交流会には31人が参加し，現在の近況等を報告し合い，懇親を深めました。当日の参加者特典として，配付された『これは便利！すぐに使えるパズル集』（関東地区数教協編集）はすぐに使えると好評でした。

　何と言っても今回の集会の特徴は，若い人達が大勢参加したことです。来年度から新規に教職に就く(正式採用)人が4人。大学生や大学院生，今年教員として採用された人も参加し，これからに期待が持てる大会となりました。長野県内の参加者の中には「この会は教職員しか入れないのですか？」と尋ねられ，一般ながら会費納入をしていただいた方もおられました。嬉しいことです。

　さらに「算数数学なんでも相談会」では，相談に訪れた，通信制高校に通っている高校生に対して，実際に使っている教科書を開きながら，和田委員長が丁寧に相談に応じました。

　また，教育委員会の後援をいただいたおかげで，上田市内の全小中学校に大会の案内を教育委員会経由で配付することもできましたし，上田市の報道関係各社宛てに取材の依頼もすることができました。その結果，地元の信濃毎日新聞に案内が掲載されました。また，地元ケーブルテレビが取材に訪れ，研究会の模様が夕方のニュースで放送されました。

　しかし，課題もありました。一つは小学校の参加者が少なかった(10数人)ことです。もう一つは，長野県内の参加者がまだ少ないことです。今回は，今まで以上に広報に力を入れましたので，長野県内の参加者は32人でしたが，半数の16人は初参加者でした。もっともっと増やしていきたいところです。（でも，県内初参加者が16人というのは画期的ですが）

ポスター展

当日「三遊亭鬼丸」さんの真打昇進襲名披露公演が同じ会場で行われていました。偶然にも，鬼丸さんは当日の講座講師である小林一久さん(長野)の教え子でした。偶然の再会でした。皆さん，三遊亭鬼丸さんをよろしくお願いします。

「定番教具作り」

～～折りたためるブラックボックス(群馬・前原さん)～～

～～ブーメラン(千葉・加藤さん)～

～～折り紙(栃木・飯田さん)～～

～～中学生が喜ぶ教具(おもちゃ)いろいろ
(長野・小林さん)～～

～ベキタイルで作る放物線(長野・和田さん)～

～～黒板に貼れるてんびん(群馬・加藤さん)～～